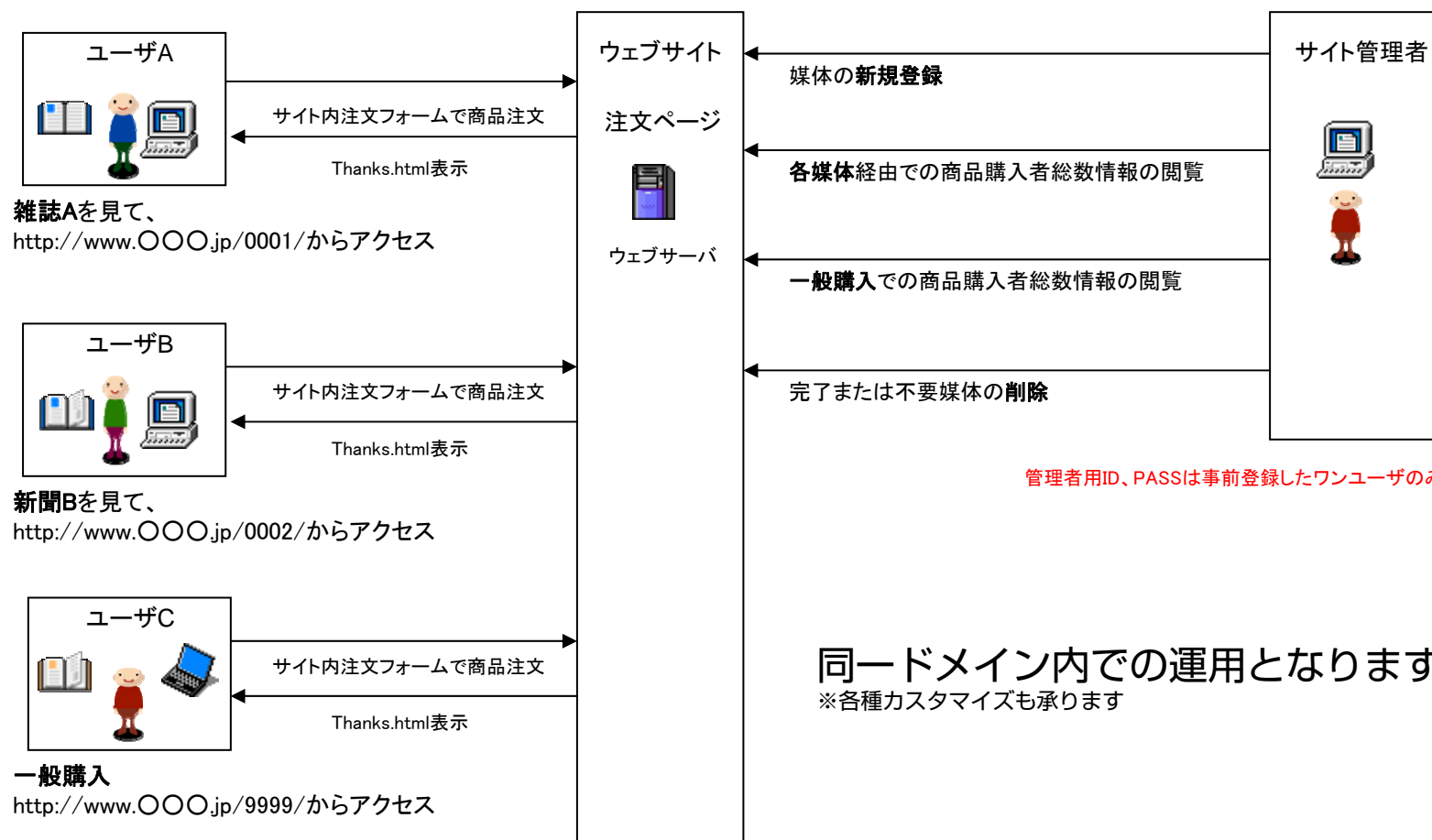


## 媒体管理プログラム

---

媒体管理プログラムはどの媒体（URL）から何名の注文があったかを管理するプログラムです。

サイト管理者は、管理画面から新規媒体（例〇〇新聞1月30日朝刊など）を登録します。  
登録時に、媒体ID「0001」などを付与することで <http://www.〇〇〇.jp/0001/> というURLが生成されます。  
そのURL経由でアクセス、購入したユーザの総数などの受注データを管理するためのプログラムです。  
※媒体を利用しない一般購入はID「9999」



## 今後の展開として . . . .

### 1 : カートシステム導入

商品増に伴い、カートシステム構築が求められます。  
決済方法の自動化や決済種別の多様化などでお客様への利便性は高まります。

### 2 : 顧客データベース、商品データベース構築

顧客データベース構築により、購入履歴のあるお客様の商品注文の簡素化や、購入履歴、頻度を確認できます。  
顧客が数千人規模になってくると必要になると思われます。アウトバウンドでのセールスをお考えの場合は購入履歴検索pgなどはセールス補助ツールになりうるでしょう。  
商品データベースでは商品ごとの売上や販売数による月次推移など、商品の販売傾向を確認することなどに利用されています。

### 3 : 販売管理システム（在庫、出荷）構築

詳細な顧客分析や、商品の在庫確認、配送業者様とのデータ転送など、販売管理システム導入により運用面での人的ミスや、コスト軽減にお役に立ちます。

### 4 : 効果測定システム構築

雑誌、新聞、テレビ、ラジオなどへの広告に対するCPOなどを分析するシステムです。  
御社商品とターゲット顧客が近い媒体を実際にかかった経費から効果測定をおこないます。